

# みんない News

2022.9  
Vol.76

## 時代に合わせて、しなやかな変化を遂げて行きたい

この原稿を書いているのは2022年7月28日です。コロナ感染症第7波の感染拡大の途上にあります。全国の感染者の数は、まだまだ増加していくことが予測されます。

本日現在、私が所属する弊社株式会社やさしい手の感染疑い者は、従業員と利用者併せて200人を超えています。

また、集団感染の回避のために、サービス付き高齢者向け住宅4棟、デイサービスセンターが7か所では、縮退運営をしています。縮退運営とは、サービス提供を生命維持のために最小限に抑えて提供をすることです。今は、利用者も従業員もこのコロナ感染症の嵐が過ぎ去るのをじっと我慢して待っているところです。

2022年2月に我々を苦しめた第6波から6か月あまりの間隔をあけて、やはり第7波がきました。この第7波は、通所介護や、訪問看護、高齢者住宅などを中心に、業績的にも、人材的にも大きな傷跡を残していくことが予想されます。おそらく、第8波と言われる感染の波も、やってくるであろうとおもわれます。

高齢者住宅事業を含む、訪問介護等事業は、毎月の売上高は計画されていた額より1割程度減少して推移すると予測されます。

弊社では、今後の対策のために、下記の対策を講じようと検討をすすめています。

- (1) 情報システム化による省力化により各事業の利益率を上げて、少しの売上でも、しっかり利益がでるように体質改善する。
- (2) 従来型の訪問介護など、感染症の影響を受けにくいサービスの発展に力をいれて、事業の割合を上げて、感染症流行が継続しても、十分に成長し続けるようにする。
- (3) 看護婦家政婦紹介事業や自費の介護サービスの拡大に力を入れる。

コロナ感染流行のなかで、会社が環境に合わせて、しなやかに変化して適合する、そのような方法がとれないか、社員の皆様と日々検討をしているところです。

現在、コロナ感染流行に大きな影響を受けているのは、特別養護老人ホームなどの高齢者施設やサービス付き高齢者向け住宅などの高齢者住宅、通所介護などのサービスです。

一方、従来型の訪問介護や、看護婦家政婦紹介所業務などは、このコロナ感染第7波の最中も、売上が成長をしています。

そのポイントは、ICTの活用にあるとおもわれます。

弊社の会長が創業した看護婦家政婦紹介所は、開所から、満60年以上が経ちます。

その中で、そのサービスの一部をICTに置き換えてサービスを提供することについて少しずつニーズが発生してきています。私たちはこの新しいニーズにどのように対応すべきか、考える必要があります。

一方で高齢化は進行し、高齢者の生活スタイルに対する要望は多様化する一方、介護保険財源には、限りがあり、サービス提供量は増えていきません。

### Profile

株式会社やさしい手  
代表取締役社長 香取 幹



昭和43年12月1日生。

【略歴】

一般企業を経て、1998年、在宅介護サービス会社『やさしい手』入社。2006年同社代表取締役社長に就任、現在に至る。

【所属】

一般社団法人 日本在宅介護協会 専務理事 東京・北関東支部支部長  
社会福祉法人 奉優会 理事  
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都介護保険居宅事業者連絡会 副運営委員長  
渋谷区地域福祉サービス事業者協議会 副会長 他歴任

また、家事代行サービス事業者の売上は日増しに増加し、家事代行を生業とする大きな会社が続々と生まれてきています。

この新しい流れを逃さないように、看護婦家政婦紹介事業をインターネット上で行い、求人者に求職者をインターネット上で紹介する新しいサービスを開発しました。

インターネット上で、求人者に紹介斡旋して合意がなされたら、つぎに、紹介斡旋契約を、インターネット上でおこないます。自費の家事代行や介護サービスは、やはりインターネットで、受付けて、サービス提供を開始できるようになりました。介護保険の指定訪問介護に沿った自費のサービスでは、運営基準の概念に縛られてしまいます。事業所の周辺の地域にしかサービス提供ができない考えになっています。新しい自費のサービスでは、インターネットで受付けします。情報システムに登録された情報を用いて、あらゆる場所に居住する従業員を検索して探し出し、あらゆる就労場所に通勤してもらって、自由にサービスを提供することができます。1つの拠点で、一都三県にサービス提供が可能です。このことにより、一回、一回のサービス提供ごとの事務的な費用を低減することができます。

さらに、訪問介護でも、スマートフォンを介して、訪問介護員同士がつながり、多くの情報を得て、自ら判断し、自ら行動することができています。ウェブでつながっていることにより、互いのコミュニケーションの中で学習が行われ、正しい自己判断ができる介護職員が多く育ってきます。この訪問介護員たちの力こそ、新しい訪問介護づくりの源泉になってきます。

訪問介護事業も、ICTを用いることにより、新しい時代を迎えることになるとおもわれます。

コロナ感染流行に端を発して、私たち在宅介護事業者は環境適合を目指し、形を変えて、新しいニーズに対応した新しい事業形態にしなやかに転換していくことが、必要になってきます。

多くの皆様と共に、助け合って、明るい新しい紹介事業の未来を創ることができれば、とても有難いことであるとおもいます。

コロナ感染者数が下げ止まりし、安堵しそうになっていたら、オミクロン BA5、BA2.75 など亜性の変異株が強力な感染力で、7月下旬には、日本は何と、感染者数世界一になりました。まだまだ気が抜けません。コロナ禍で、世の中が様変わりし収束も見えませんが、しっかりと記憶にとどめて、これからのウイズコロナの時代に備えたいものです。

## 厳しい叱責に、防護服で対応！

株式会社ケアメイト大岡山  
佐藤 みあき

昨年6月、住込みの家政婦さんがコロナウイルス陽性に。週2回勤務しており、症状の出る2日前にも泊りで利用者宅に勤務していた。利用者さんと居住地が違うことから保健所からの指示が中々入らず…

この頃は濃厚接触者の基準も厳しかったので利用者様、ご家族を濃厚接触者になるものとして対応。ケアマネジャーに連絡し、ご家族には訪問して報告。

複数の家政婦さんが入っているため説明し防護服をお持ちする。家政婦さん、皆さん理解してくれ防護服着用での介護を引き受けてくれる。

利用者様は主治医の判断でPCR検査実施。ご家族、ヘルパーさんについては弊社負担にて利用者様の主治医にお願いして自費で検査実施。利用者様・ご家族・他家政婦さん陰性。

ところが、ご家族からは「お宅はぬるいです。人の命が関わっている、会社潰れますよ。自分勝手、うちには落ち度はない。真剣に考えて下さい、どれだけ迷惑が掛かっているか。どうしてくれる、あなたには責任者の資格はない。今までだって出来

ない人が何人来ましたか、日雇い労働者の職安というわけではないでしょ。どう責任をとってくれる。生っちゃろい。」「感染した家政婦さんは責任感があると言ったが浅知恵がある。自己中心的、お宅は人を見る目がない、家を見極めて人間観察、哲学、倫理をもっと勉強して紹介して下さい。うちは大迷惑です。」などかなり厳しい言葉でお叱りを受けた。

誠意を尽した対応をさせて頂き、幸い他への感染がなかったことから今回はなんとか事なきを得たが、万が一利用者様への感染があった場合を考えると本当に怖いことだ。

今現在は、濃厚接触者の定義も変わってきているので、前ほど対応に難儀することは無くなっているがそれでも早くこのウイルスの収束を願わずに入られない。

我が家も、昨年7月、長女からの家族感染(発熱)、今年1月夫からの家族感染(発熱、咽頭痛症状)で、この頃は感染大爆発で近医に相談するが、陽性だと思うと、みなし陽性にもかかわらず、自宅待機10日間。4月にまた長女の感染で濃厚接触者に、とコロナウイルスに散々振り回されている。

## 今は「コロナと共に」

(K.M.)

東京都の1日の感染者数が4万人を超えている今日この頃。数字の増減にも慣れてしまい、感染対策は今まで通りに行っているが、いどこで感染してもおかしくない状況。逆にワクチンの接種もまだ行われず、コロナの恐怖と戦っていた頃が懐かしくもあり…

昨年(令和3年)3月に知人が感染、隔離のため入所指示を待っていても連絡が来ないため自宅待機。

40度の熱と咳、痰を切る事も苦しく、強烈な胸の痛みで一時

は死を覚悟したという。その間の食事や飲み物、消毒スプレー等々、必要な物を毎日メールで送ってもらい、自転車で私が買物に行き、玄関先に置いて帰ってきた。先が見通せずに不安と戦った時間は忘れられないと知人は話すが、確かにあの時は誰もがそうだったはず。

「収束」「終息」という言葉ももう使われなくなってしまったが、今は「コロナと共に」生きていく方法を前向きに探していきたいと思っている。

## 「疑陽性から陰性へ」

7月18日に訪問したお客様から、19日の夕方に電話があり娘さんがコロナだったと連絡があった。

職員は翌日の朝、民間のPCR検査を受け疑陽性となる。症状は全く無く、抗原検査は陰性だった。

その後医療機関で再度PCR検査を受け陰性の結果が出た。翌日の抗原検査も陰性だったので仕事に復帰した。

## 「医療崩壊？」

宝ケア株式会社  
木村 宏之

7月20日にお客様宅へ訪問するとベッドの下で倒れており、頭部を打ったようなので救急車を呼ぶため119番へ電話をしたが、1時間くらいずっと電話がつながらなかった。コロナ患者の急増が原因だと思うが、来てくれた訪問看護師もこんなことは初めてで医療の崩壊がすでに起きているのではと言っていた。その後電話がつながり、無事に検査入院することができた。



## 疑問だらけの対応…に

東京K

去年（令和3年）の9月家族中が感染しました。娘が職場で同僚（濃厚接触者と後日判明）からの感染で、その方が会議中、物凄い咳をしていたらしく気にはなりながらも帰宅。翌日に発熱して休職、PCR検査をして陽性が判明しました。

次々と家族が感染しました。一番酷かったのは持病持ちの中年の私。家族全員が感染したためその日から買い物できず、犬の散歩も…すごく困りました。

これ経験した方なら分かると思いますが、持病持っている人の場合や、コロナじゃなく急病だった場合は、手遅れになると感じました。息子がかなり苦しく救急車を呼びましたが、病院もベッドの空きがなく待機状態で1時間2時間その場で待つ状況でした。仕方なく自宅で待機するも、脱水になっていたとしても対応してもらえないのが現実でした。

私は、酸素飽和度が89%に夜中落ちるまで我慢してしまい、限界がきて、夫の車で「〇〇区酸素ステーション」へ。そこからやっと病院に移動。肺炎になっており、肺全体がうっすら白くなっていたので、エボラ出血熱の治療薬で治療することに。

ポーっとして朦朧とする意識の中でサインし、治療薬が投与され酸素マスクをあてられました。病院の対応は、看護師さんはとても良かったです。先生は入り口から入ってこず、遠くで「どうですか?」と。苦笑しかありません。

「大丈夫じゃないです…」細々と、それだけしか言えませんでした。

色々言いたいことありましたが、とにかく第7波の始まりの今、どれだけ、これまでのパンデミックが参考になっているのか…学べたはずで国の対応は反映されないのか…疑問だらけです。

問題点をアンケートにも書いて出しました。（きつと読んでる暇ないですね）

対応が前より良くなってない！改善されていないことにビックリすることが多すぎました。一生懸命に現場の人たちはやってくれています。が、国の整備・対応にも疑問が。これ民間だったらもっと改善されているはず。

コロナと付き合いながら生活していかななくてはならない現代社会。サル痘とか得体のしれないウイルスや細菌がドンドン出てきていますよね。よその国とのしがらみが在りすぎるのではないかと思います。

迅速に対応するためにも、コロナだけでも昔のように「さすが日本！」と言われるように対策が立てられたらと。今もコロナに感染してしまっている方や後遺症で困っている方々一日も早く治りますように。そして、コロナが軽くなりますように。

## ウイズコロナ？で乗り切った！

株式会社アーチ  
千阪 愛

今年7月、第7波の初め、紹介所のご利用者（求人者）のA様、90歳元女医。少し認知症状はあるが、しっかり自己主張なさる方で、ケアワーカー（求職者）が気に入らないと何度も交代させられてきた。しかも、A様お気に入りの通いのお手伝いさん（Bさん）、80歳がいて、このBさんにはどうも物取られ妄想？があるようで、何人ものケアワーカーが被害を被ってきた。

このBさんが初めにコロナ感染。発熱が数日続き、受診しPCR検査で陽性判明した。この発熱期間中にも、ケアワーカーが来るまでA様宅にお手伝いに通い、報告、連絡、相談が遅れた。その間に、週1回様子を覗に来られる娘さまにも感染。

訪問診療の医師がPCR検査を実施、A様は陽性。週2日泊まり勤務のケアワーカー（Cさん）、60歳は当日は陰性でほととしたものの、翌日の検査で陽性判明、ただし、いずれも発熱もなく、

無症状だった。

医師をはじめ、担当のケアマネジャーは、90歳のA様の入院先を探したものの見つからない。すると、A様は「どこにも行かない、入院はしない。最後まで自宅にいる！」と主張。A様には、こだわりが山ほどあり、調理や食器、入浴や排せつの方法などとてもユニークだ。慣れるまで大変な思いはしたが、教えられることも多々あった。

で、医師と相談連携し、ウイズコロナ、つまり陽性のA様を陽性のケアワーカー（Cさん）が介護する形で、自宅療養しながら、経過観察と相成った。4回目のワクチンも早々に接種していたのが功を奏したのか、先日、めでたく各自快復した。ウイズコロナ介護で乗り切ったのであった。



2019年 → 2020年

12/31	1/9	1/12	1/16	1/27	1/31	2/5	2/13	3/24	3/29	4/7 ~5/25	4/17	4/23	
・世界保健機関(WHO)へ	・中国湖北省武漢市「華南海鮮卸売市場」から肺炎患者	・初の死者 「華南海鮮卸売市場」	・日本人初の感染者確認	・厚生労働省	・世界保健機関(WHO)	・大型クルーズ船 ダイヤモンド・プリンセス号 で集団発生	・国内初の死者	・国内各地で感染者続出	・東京オリンピック延期	・コメディアンの志村けんさん 死亡	・初の緊急事態宣言	・アベノマスク配布	・俳優の岡江久美子さん死亡
中国当局から原因不明の肺炎発生が報告される	中国当局は新型コロナウイルスを特定	WHO発表41人感染うち1人死亡。1月1日に閉鎖した武漢の海鮮市場の従業員や来訪者がほとんど。	中国・武漢から帰国した神奈川県の男性。	新型肺炎を「指定感染症」に指定。対策推進本部会議設置。日本、感染者4名、死亡者0名	緊急事態を宣言「新型コロナウイルスはパンデミック」	乗客乗員10人が新型コロナウイルスに感染、その後、次々に感染拡大。	神奈川の80代女性。	和歌山の医師、都内のタクシー運転手、千葉の男性が感染。	安倍晋三首相と国際オリンピック委員会(IOC)のバッハ会長が電話協議、1年程度の延期を合意。	20日に重度の肺炎と診断され入院、23日に新型コロナウイルスの陽性と判明。29日に死亡。70歳。	安倍首相が感染防止策として全戸に配ると打ち出す。	店舗のレジでは一定間隔を空け、密閉を避ける。マスク着用・手洗・うがい・消毒・換気など励行。テレワーク奨励など、新生活様式始まる。	新型コロナウイルスによる肺炎のため、病院で死亡。63歳。乳がん治療中だった。

はじめ

第1波

日本全国感染者数 0人

ピーク 2020 4/11 720人

第1波

- 治療法などが不明で混乱。肺炎治療の切り札、体外式膜型人工肺 (ECMO (エックモ)) も不足。
- 新型コロナウイルス対策の特別措置法 (特措法) に基づく「緊急事態宣言」下では、政府は人と人との接触機会を「最低7割、極力8割」削減する目標を掲げ、都道府県知事から飲食店やスポーツジム、ライブハウスなど幅広い業種に休業要請。全国的かつ大規模なイベントは中止や延期。



第2波

- 全国に感染が広がる。当初は若い世代の感染者が多く、東京など都市部で感染が拡大するにつれ中高年層へ広がり、感染経路も会食や飲み会が目立つ。
- 緊急事態宣言は発出されず、感染拡大した自治体で酒類を提供する飲食店やカラオケ店への営業時間短縮要請。



第3波

- 感染は、幅広い地域・年代層に拡大。家庭内、重症化リスクの高い高齢者の感染増大。年末年始の行事や帰省の影響か、重症者がはるかに増加する。
- 2度目となる緊急事態宣言では、飲食店などへの時短要請に絞った対策。営業は午後8時まで (酒類提供は午後7時まで)。
- 治療薬 (ステロイド、レムデシビル、抗凝固薬) 投与で、治療法が進化した。アルファ株が出現。

日本民营看護家政連合会

- (株)アーチ福祉 & サービス人材センター (古賀 道)
- (有)アイケアサービス青梅 (五十嵐 洋子)
- (有)石川ケアサービス (石川 要子)
- (有)永仁看護婦家政婦紹介所 (三崎 孝子)
- (株)ACA (板井 仁志)

- (株)かたばみ西東京ナース&ホームヘルパーセンター  
西東京人材センター (方波見 正彦)
- (有)キャリアコネクト (渡邊 義弘)
- (有)経堂ケアサービス家政婦紹介所 (鳥居 佐智子)
- (株)ケアメイト大岡山 (徳永 洋子)

- (株)コイワ介護家事サービス (北村 清美)
- (有)高円寺ケアサービス (渡辺 操)
- (有)笹塚ケア・ニジュウイチ (富田 正親)
- (有)佐賀看護婦家政婦紹介所 (佐賀 美代子)
- (有)三和看護婦家政婦紹介所 (米村 葵)

2021年

2022年

7/22	10/1	12/26	1/8 ~3/21	2/17	4/5 ~9/30	4/25 ~6/20	6/21	7/12 ~9/30	7/23 ~8/8	1/9	3/21	4/17
・Go Toトラベル	・Go Toイート	・変異種が出現	・2回目の緊急事態宣言	・ワクチン接種が始まる	・まん延防止等重点措置	・3回目の緊急事態宣言	・まん延防止等重点措置	・4回目の緊急事態宣言	・東京オリンピック無観客で開催	・まん延防止等重点措置	・すべてを解除	・オミクロン型世界で流行
観光業への支援策「Go Toトラベル」始まる。	飲食店への支援策「Go Toイート」が始まる。	英国に滞在歴のある都内の30代男性と、その濃厚接触者の20代女性の計2人が、より強い感染力の新型コロナウイルスの変異種に感染。翌日には計8人に増加。変異株は、アルファ、ベータ、ガンマ、デルタ、と発生。	菅義偉首相が東京、神奈川、埼玉、千葉の首都圏4都県に。	医療従事者、高齢者が優先される。	東京、緊急事態宣言から切り替わる。	東京、大阪、兵庫、京都の4都府県に発出。	東京都に発出。	1年延長のあと、緊急事態宣言のさなかでの「異例の開催」(菅義偉首相)となった。	沖縄、山口、広島が対象。東京、愛知、さらに大阪、北海道、福岡、和歌山、高知など、次々に追加。2月には、地域は、計36都道府県まで拡大。	世界で流行する新型コロナウイルスの99%超が変異型「オミクロン型」とその派生型に置き換わり、他の変異型を駆逐。		

各波の期間はCOVIREGIIJP※の解析で定義されたものを引用  
※国内入院患者登録システム「COVIREGIIJP」



第2波 第3波 第4波 第5波 第6波



第4波

- 米製薬大手ファイザー、モデルナの新型コロナウイルス感染症ワクチンが、日本で順次正式承認され、接種が始まる。感染収束の「切り札」と期待。
- 感染者が急増、政府は「まん延防止等重点措置」を打ち出す。緊急事態宣言に至らないよう予防的・集中的な対策を取ることが狙い。
- 3回目の緊急事態宣言では、ゴールデンウィークを見据え、飲食店での酒類提供禁止など、より強い対策が盛り込まれる。

第5波

- 感染力が強いとされるインド由来の「デルタ株」が猛威を振るい始める。
- 65歳以上の高齢者にワクチン接種が進み、高齢者の感染は減少。50代以下の中老年、若年層の感染が拡大。
- 重症者が増え、東京を中心とした都市部の医療が、救急医療や予定手術等の通常医療も含めて危機的な状況に。自宅療養中の死亡者も相次いで報告される。
- 飲食店等に再び休業要請、大型商業施設は時短営業、酒類提供は制限。大規模イベントは引き続き、上限5,000人かつ収容率50%以下での開催要請を維持。
- 新規陽性者数も急増。重症者数の割合はほぼ半減。死亡者数も低下。

第6波

- 「オミクロン株」の急拡大。デルタ株に比べ、再感染リスクや二次感染リスクが高く、感染拡大の速度も非常に速いが、重症化リスクは低い。
- 2月上旬以後は、緩やかな減少が続く。



所属紹介所一覧 (50音順)

- |                      |                              |                            |
|----------------------|------------------------------|----------------------------|
| 城西家政婦紹介所 (白根 日出子)    | 野沢サービス家政婦紹介所 (肥後 サダコ)        | ㈫福生ふれあいの友 福生家政婦紹介所 (濱尾 憲一) |
| ㈫城南ケアサービス (板井 和子)    | ㈫畑中ケアサービス (畑中 公子)            | ㈫ヘルパーサービス和知 (和知 祥子)        |
| ㈫関看護婦家政婦紹介所 (酒井 ひろみ) | ㈫八王子メディカルサービス職業紹介事業部 (秋好 順子) | ㈫モチギ家政婦紹介所 (茂木 芳枝)         |
| 宝看護家政婦紹介所 (木村 宏之)    | ㈫美徳介護サービス (大蔵 祐子)            | ㈫やさしい手 大橋サービス (香取 眞恵子)     |
| ㈫日本介護センター (藤本 里海)    | ㈫福住家政婦紹介所 (野口 千栄)            | よふき看護婦家政婦紹介所 (和田 美成子)      |

## 日本民営看護家政連合会

### 【リモートによる BCP 研修 所長研修会・教育部共催】

令和4年2月16日、所長研修会と教育部共催で実施されました。研修テーマは「BCP（事業継続緊急事態強化計画）」。特に、介護事業所では、経過措置後の令和6年から、策定が義務付けられ、そのBCPに沿って緊急事態を想定した訓練などを実施する必要に迫られています。介護労働安定センターの藤野和良氏を講師にお迎えし、参加者22名、貴重な勉強の機会を共有することができました。

### 【令和4年度第10回定時社員総会】

令和4年5月18日、定時社員総会を開催。事業報告・会計報告及び事業計画・収支予算案は満場異議なく全て可決承認されました。出席者は、21名（委任状提出6名）。

本年度は役員改選年度にて、次の様に決定し、各部担当も選任されました。

【理事長】香取眞恵子（新任）【副理事長】白根日出子・畑中公子・

茂木芳枝（新任）【専務理事】鳥居佐智子（新任）

【監事】梅田泰宏・徳永洋子（新任）

【最高顧問】藤本里海（新任）【相談役】杉本京子

【会計理事】板井和子・板井仁志（新任）

【総務部】部長 / 秋好順子・副部長 / 和知祥子

【教育部】部長 / 和田美成子（新任）・副部長 / 大蔵祐子（新任）

【文化広報部】部長 / 古賀道・副部長 / 茂呂和子

【福祉対策部】部長 / 三崎孝子・副部長 / 酒井ひろみ

【所長研修会】会長 / 白根日出子・副会長 / 木村宏之（新任）

会計 / 五十嵐洋子

### 【所長研修旅行】

新型コロナウイルスの蔓延により令和2年度、3年度と実施できなかった研修旅行でしたが、今年度は5月15日～16日に信州上諏訪、長野善光寺方面で実施。

研修のテーマは「職業紹介事業運営の適正化」。各自、自主点検チェックリストにより、研修となりました。

新宿駅から、あずさ9号で茅野駅へ。観光バスにて、駒ヶ根を經由してロープウェイで千畳敷へ。残雪の絶景を堪能した後に「渋の湯」で温泉と会食を楽しみました。翌日は7年に1度のご開帳で賑わう善光寺を訪れ、ご本尊様の右手と結ばれている回向柱に触れ、ご利益を授かり、参拝。そして、小布施の岩松院にて葛飾北斎晩年の傑作、天井画「八方睨み鳳凰図」を鑑賞し、帰路につきました。



回向柱に触れて



食事処「東右衛門」の前で

## 関係・上部団体の活動

### 【公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会】

令和4年6月16日、定時社員総会・表彰式が浅草ビューホテルにて開催され、総会議題は全会一致にて可決承認。

今年度の表彰受賞者（日本民営関係）は、次の方々です。

#### ●厚生労働大臣表彰

酒井ひろみ様（（有）関看護婦家政婦紹介所）

#### ●会長表彰（求職者表彰）

吉沢美智子様（（有）経堂ケアサービス家政婦紹介所）



厚生労働大臣表彰の  
酒井ひろみ様



会長表彰の  
吉沢美智子様（右）

### 【公益社団法人 全国民営職業紹介事業協会】

令和4年6月15日に、定時社員総会および講演会が民紹協会議室にてZOOM等により開催され、ふくし会から、酒井ひろみ氏が新理事に選出されました。なお「優良民営職業紹介事業功労者等の表彰式」「記念撮影」「懇親会」については新型コロナウイルスの拡大防止に配慮し、実施が見送られました。

### 【ふくし会】

令和4年6月15日、米村葵会長のもと、山下剛司副会長が議長に選出され、日本介護センター会議室において定期総会が開催されました。出席者数21名のうち、大阪から3名の会員（山下氏、坂口友紀子氏、秋山公子氏）も参加され、議題は全会一致で承認されました。終了後には、会場において懇親会が開催されました。

### 【株式会社 日本介護センター】

令和4年6月23日、会議室において定期株主総会が開催されました。事業報告・決算報告及び事業計画案・収支予算案について、活発な質疑応答のもと、審議され、可決承認されました。

## この人に聞きたい

(有)関看護婦家政婦  
紹介所



酒井ひろみさん

INTERVIEW



### 母の思いを胸に…

京急鶴見市場駅近く、旧東海道沿いにある事務所はご実家。助産師のお母様が創業したものを残しておきたいとの思いから「関」という旧姓を事業所名として今も変えずにいる。

二人の息子様を育てながら専業主婦として過ごしていたが、41歳の時にお母様が体調を崩し、急遽、紹介所を手伝う事になった。現在は訪問介護事業所を併設し、紹介責任者の後藤千佐さんが所長の右腕として活躍されている。頼もしい相棒にも恵まれているようだ。

本年6月に厚生労働大臣表彰を受賞され、十数年前にお母様が同じ表彰を受けて晴れやかな顔で帰ってきた日を思い出した。「あの時の母もきっと私と同じ気持ちだったのだろうな」と思いを馳せる。

### 朝9時から午後7時まで

「人と話をするのが大好き」と話す酒井さん。それが仕事に繋がり、日々の原動力となっている。東京の自宅から川崎の事務所まで、愛車で通勤。毎朝9時から午後7時までは事務所に。仕事が終わってドアの鍵をかける時の充足した気持ちに達成感を覚えるとか。

事務所を出て、すぐ前の部屋のドアを開けると雰囲気違った。数年前に腰を骨折して動けなくなった時、ここに泊まりながら仕事をした。賃貸マンションの一室を自分の部屋として使い、今は無理して自宅に帰らずにこの部屋に泊まる事も多くなった。

ご主人の開業医だった両親からいただいた書物が本棚に綺麗に並び、北欧調の家具や雑貨が、日々の疲れを癒す空間を作り出している。



月刊誌「清流」も…

### 趣味…？ 休日はウォーキング

ご主人の趣味は「北海道主要樹木図譜」の収集で、展示会をする程との事。ご自身は趣味が無いのが悩みで「仕事を辞めた後、老後はどうする？」と心配されているらしい。読書をしてピアノのリサイタルに行き、映画館や美術館に足を運ぶ、そんな時間を、今は大切にしている。

「他には？」と聞くと「健康のためにひたすら歩いています！」と即答。自宅を出て、西麻布を直進、根津美術館付近や表参道を通り、明治神宮を参拝するのがお決まりのコース。アンセーニュ・ダングル(喫茶店)で美味しいコーヒーを飲みながら本を読み、ひと休みしてからまた歩いて自宅へ戻る。他にも乃木神社や氷川神社へのコースもあり、坂や階段を見つけると好んで歩いている。

現在、看家協会理事、民紹協監事という要職に就きご尽力されているが、そのバイタリティーはきっと日々のウォーキングから培われているに違いない。今後のますますのご活躍に期待するばかりである。





## インフォメーション information

### 中小企業に「パワハラ防止法」が義務化

2020年6月からパワハラ防止法、(労働施策総合推進法)の適用が始まり、今年4月から中小企業にも義務付けられました。この改正法を正しく理解し、必要な対策を講じる必要があります。もし、対策を怠った場合には、損害賠償責任を問われる可能性もあります。

対策の明確化や相談体制の整備、パワハラがあった場合の適切な対応や再発防止などがより厳しく試されるようになります。パワハラは意外と身近に発生しており、どの企業も早急に対応が必要でしょう。

職場のパワハラとは、職場において行われる①優越的な関係を背景とした言動であって、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、③労働者の就業環境が害されるものであり、①から③までの

3つの要素を全て満たすものをいいます。なお、客観的にみて、業務上必要かつ相当な範囲で行われる適正な業務指示や指導については、職場におけるパワーハラメントには該当しません。

### 高齢者虐待防止の推進

平成18年4月1日施行の「高齢者虐待防止法」(「高齢者に対する虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」)では、直接的に高齢者の虐待を禁ずることはもちろん、介護従事者が発見した場合の市区町村への通報義務や、通報を受けた市区町村の対応等定めています。

令和3年度の介護報酬改定では、これら虐待に対する取り組みを今までより強化するため、全ての介護事業所に対して運営基準に、委員会の設置や開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定めること等の項目を追加することが義務化されました。3年間の経過措置期間が設けられています。



## 「レコーダ よよ木」

題字デザインは茂木真理さん

少し前の朝の連続テレビ小説で「時代劇が大好き♥」というヒロインが出ていました。私も子供のころからずっとTV時代劇は好きで、毎週楽しみに定番のTV時代劇を観ていました。小学校時代、体育館の掃除当番の時、何故かみんなで歌いながら掃除をしていて、その時アニメの主題歌やグループサウンズの曲と共に銭形平次の歌を歌っていたのを覚えています。先日、社内でこの話をしたところ、皆それぞれに好きだったTV時代劇を思い出して大変盛り上がってしまいました。

「やっぱり吉右衛門さんの『鬼平』が好き!」とか「大江戸捜査網の杉良太郎さんと梶芽衣子さん、かっこよかったね」とか。手に汗握る展開にワクワクし、人情にホロリとする…結構みんな時代劇好きだったのです。

通勤時にも時代小説を楽しんでいます。推しは上田

秀人さん。最近まで大阪で歯医者さんもなさっていて、口腔外科手術で実際に人を切った経験があることが、迫力満点、魅力的剣劇シーンに繋がっているのではと、雑誌に載っていました。また、江戸時代の役職辞典を読むのが好きなのだそうで、「お髷番承り候」の『お髷番』とか、「關所物奉行裏帳合」の『關所物奉行』とか、珍しい役職の主人公が出て来るのも興味深いのです。「妾屋昼兵衛女帳面」では主人公が『妾屋』で、世継ぎのない大名、旗本がお家断絶を避ける為、密かに彼を頼り事件が起こる。お妾さんを紹介する彼の仕事ぶりに共感?なるほどねと紹介業の勉強にもなりました! 時代劇ワールドとっても楽しいです♥

(大蔵 祐子)



みんないニュース秋号 2022年9月発行(年2回発行)

一般社団法人 日本民営看護家政連合会

理事長 香取 眞恵子  
副理事長 白根 日出子  
副理事長 畑中 公子  
副理事長 茂木 芳枝

発行：一般社団法人 日本民営看護家政連合会  
〒113-0033 文京区本郷2丁目26-10 セイコービル2F  
TEL: 03 (5615) 9438 URL: <https://nihonminei.org>  
制作協力：有限会社ゴルゴオフィス



頒価 200円